

生涯学習システム：第4期単位制について（正会員対象）

生涯学習システムは、各人が義肢装具士としての資質向上、技術の研鑽等を行い、自己の充実を目指した中で、自発的意志に基づき業界発展のために寄与することを目的とします。本協会では自己研鑽支援のため単位制を導入し、第4期として平成26年4月1日より新たな3年間で12単位以上取得することで将来は取得した単位数を元に、次のステップへ移っていただくことも検討しています。

| 内 容 | 履修単位 |
|--|------|
| 1) 協会主催の学術大会への参加 | 2 |
| 2) 協会主催の学術大会での講演、シンポジスト | 3 |
| 3) 協会主催の学術大会での一般演題発表 | 2 |
| 4) 協会主催のセミナーへの参加 | 1 |
| 5) 協会主催のセミナーでの講演 | 3 |
| 6) 協会主催のセミナーでの一般演題発表 | 2 |
| 7) P0アカデミージャーナルへの依頼原稿、投稿論文の筆頭著者投稿 | 5 |
| 8) P0アカデミージャーナルへの依頼原稿、投稿論文の共著者投稿 | 1 |
| 9) P0アカデミージャーナルへのその他の筆頭著者投稿 | 3 |
| 10) P0アカデミージャーナルへのその他の共著者投稿 | 1 |
| 11) 隣接学際領域 [※] への学術大会等の参加 | 1 |
| 12) 隣接学際領域 [※] での学術大会等の講演、シンポジスト | 3 |
| 13) 隣接学際領域 [※] での学術大会等の一般演題発表 | 1 |
| 14) 隣接学際領域 [※] への依頼原稿、原著論文の筆頭著者投稿 | 5 |
| 15) 隣接学際領域 [※] への依頼原稿、原著論文共著者投稿 | 1 |
| 16) 国際学会 [※] の学術大会等の参加 | 2 |
| 17) 国際学会 [※] の学術大会等の講演 | 3 |
| 18) 国際学会 [※] の学術大会等の一般演題発表 | 2 |
| 19) 卒前新人セミナーの受講 | 1 |

※ 隣接学際領域および国際学会とはP0アカデミージャーナルの「他学会のお知らせ」に掲載された学会、研修会、講習会、学術大会(協会主催以外)、および協会が認める学会(ISSNおよび日本学術会議協力学術研究団体)、研修会、講習会、学術大会であること。

- ・単位申請は次頁の申請用紙にて事務局へ申請してください。申請用紙一枚につき、一件のみ記載してください。
- ・申請書は協会ホームページからもダウンロードできます。
- ・参加したことを証明できる参加証、領収書、委嘱状などを原本またはコピーを添付して事務局へお送りください。講演集・抄録のみでは参加と認めませんのでご注意ください。
- ・平成26年4月以降に開催された隣接学際領域および国際学会の学会参加や論文投稿などを行なった場合のみ、申請してください。
- ・単位申請の期限は参加、発表、講演、論文掲載誌の発行より6ヶ月間のみ申請を受理いたします。ただし、平成26年4月～平成28年4月までは平成28年10月までに、平成30年1月～同年3月末の申請に関してのみ、平成30年6月30日までに申請を終了してください。
- ・当協会主催の学術大会やセミナーへの参加・発表、P0アカデミージャーナルへの投稿・執筆に関しては、協会が手続きをするので申請の必要はありません。
- ・その他、単位制に関するお問い合わせは、本部事務局へE-mailでお願いいたします。

日本義肢装具士協会 単位申請用紙

申請日 年 月 日

会員番号 _____ 氏名 _____ ⑤

所 属 _____

連絡先住所 _____

区分：参加・一般演題発表・シンポジスト・講演、論文投稿（筆頭、または共著者）、など

| 主催者名 | 学会・学術大会名称 | 開催年月日 | 区分 |
|--------------|------------------|--------------|--------|
| (例) 日本義肢装具学会 | 第12回日本義肢装具学会学術大会 | 2005. 11. 19 | 一般演題発表 |
| | | | |

この欄に、参加証、領収書、召喚状など

参加したことを証明できる原本またはコピーを貼付してください。

講演集・抄録のみでは参加と認めません

貼付できない場合は、別紙として、本申請書と同封して提出ください。